

朝のこない夜はない

大事だいじを成なす秘訣ひけつは継続けいぞく  
継続けいぞく心しんを修養しゅうようしましょう

副山首 鈴木正修



『法音』読者の皆様に心から新春のお慶びを申し上げます。昨年は三月十一日以来大変な年になりましたが、本年は日本復興新生の希望の年となることを願っております。

ところで、年頭に当っては誰もが今年こそはと誓いを立てるものですが、なかなかそれを一年通して継続するのは難しいものです。

『武士道』の著者として有名な新渡戸稲造博士が『修養』の中で次のように言っておられます。



「何事でも継続するについてはすこぶる困難がある。しかし、人が大事を成すと否とは、一に懸ってこの継続にあるのだから、いかなる困難を排しても、継続心を修養しなければならぬ」

私たちは怠け心が起こったりして継続が途切れることがよくありますが、新渡戸博士も若い頃、論文を書いている時に嫌になることがよくあったように、ドイツに留学した時にたくさん本を書いている教授に「どうしたら嫌にならないか」と質問したそうです。その教授は「書物も書き出して途中から先になると、嫌になって嫌になってたまらないものなんだ。そんなときは中止しようとも思うのだが、それを我慢してやるといつしか完成するものである」と言ったそうです。とにかく辛抱してやり続けることが大切だ、と教授は教えてくれたわけです。

新渡戸博士は『修養』の中でいくつか継続のコツを挙げておられます。ここでは三つ紹介します。

一つ目は、一定の年限を設けてその間だけ先ず継続してみて、その後は適

宜考えていくという方法です。

新渡戸博士が学ばれた札幌農学校の設立者であったクラーク博士は学生に  
対して飲酒・喫煙・賭博の三つをしないことを誓わせました。それは二人の  
保証人をつけて誓いの文を読ませるといふ厳肅なものでしたが、在学中だけ  
という期限付きでした。これに対して、在学中だけでは効果がないと反対す  
る人もいましたが、実際は在学中に厳しく誓いを守ることによって、一生誓  
いを守り通した人がかなり多かったです。一定の年限を決めて、その間継  
続できればそれが習慣化するようです。

二つ目は、札幌農学校で新渡戸博士が教鞭をとっておられる時に学生たち  
に教えられたことです。それは「ここだな」といふ觀念を持つことです。何  
かあった時に、平生自分が修養しているところの価値が試されるのです。そ  
の時「ここだな」と思つて力を入れてやるということです。勉強をしていて  
怠け心が出た時や、早起きを続けていて寝坊しそうな時、「ここだな」と思  
つて自分を奮い立たせて決心を継続するのです。「ここだな」といふ言葉は



## 朝のこない夜はない (205)

当時の学生の間で流行語のようになったそうです。

三つ目。新渡戸博士は決心を続けていると誰しも、いつしか人格が練れてくると言われます。その決心の中心です。

新渡戸博士は、「継続することが大事であるから何も難しいことを選ぶ必要はない。それどころか、難しいこと、偉いことをやろうとすると続かないで失敗することが多い。だから易しいこと、普通のこと、少し嫌なことなどを選んで、毎日続けて克己心を養うのが良い」と言っておられます。

新渡戸博士自身は若い頃から、克己心を持ち続けるために冷水浴を続けられたそうです。

この三つのコツを年頭の誓願の参考にしていただけたらと思います。

本年も皆様とともに法華経・三徳の実行をしてまいる所存です。どうぞよろしくお願い致します。